

Table with 4 main columns: 事務事業名 (芳賀地区緑化推進委員会参画事業), 担当 (建設部 都市計画課 維持管理係), 政策名 (D 自然と潤いがある安全快適なまちづくり), 電話番号 (0285-83-8724), 施策名 (04 自然環境の保全と保護), 基本事業名, 法令根拠 (緑の募金による森林整備等の推進に関する法律), 予算科目 (1.一般会計, 8.土木費, 4.都市計画費, 4.公園管理費), 事業概要 (緑豊かな自然環境を将来にわたり、保全・整備する幅広い緑化運動を実施するため、会員として参画する。また苗木の無料配布時に募金活動等を行い、緑化意識の高揚を図る。)

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

Main data table with 6 sections: ①手段 (24年度実績, 25年度計画), ②対象 (芳賀地区緑化推進委員会), ③意図 (市民の緑化意識の高揚を図る), ④結果 (緑化推進が図られ、住環境水準が向上する), ⑤活動指標 (緑の羽根の配布数, 家庭用苗木の配布数, 各種コンクールの参加件数), ⑥対象指標 (構成員数), ⑦成果指標 (緑の羽根募金, 苗木配布時募金), ⑧上位成果指標 (真岡市をきれいなまちと感じる市民の割合), (2) 総事業費の推移 (国庫支出金, 県支出金, 地方債, その他, 事業費計(A), 正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計(B), トータルコスト(A)+(B))

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

Table with 3 rows: ①この事務事業を開始したきっかけは何か? (緑豊かな自然を将来に渡り、保全・整備する幅広い緑化運動を実施するため。), ②事務事業を取り巻く状況 (対象者や根拠法令等)はどうか? (二酸化炭素の吸収資源対策として、地球温暖化防止のために緑化推進の重要性が増した。), ③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? (毎年配布する苗木の種類を変えており、配布を受けた市民からは大変喜ばれ、募金にも積極的に協力を得ていた。)

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 本参画事業により、真岡市緑の基本計画の目的である緑化推進に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 緑化推進を図る必要性から妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 本事業は参画事業のため、限定・追加等はできない。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 本参画事業は、緑化推進について、適切な各種事業が行われているので、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 今まで、芳賀地区緑化推進委員会で実施していた緑化推進事業を、とちぎ環境・みどり推進機構や真岡市等で実施する。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない とちぎ環境・みどり推進機構参画事業
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない とちぎ環境・みどり推進機構には、緑の募金や、とちぎ緑の基金等の緑化事業の推進があり、統合できる。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 負担金は無いため削減余地がない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 募金活動・苗木の配布・委員会出席等の必要最低限の人件費であり、削減余地がない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民の受益者負担は無いため、公平公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続 芳賀地区緑化推進委員会が、緑化推進事業をとちぎ環境・みどり推進機構や真岡市等に移行させ、平成24年度末に解散した。	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える																								
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							